

奈良県植栽計画 の策定について

しきいろどり
「なら四季彩の庭」づくり

平成26年4月23日
奈良県・市町村長サミット

1. 植栽計画の目的

豊かで変化に富む自然、歴史文化遺産や人の営みなどがあいまって、**奈良県の魅力ある景観**はかたちづくられてきましたが、その魅力の一つである、彩りや緑によりかたちづくられる景観の現状に目を向けると、「整備・維持管理に係る努力の不足」「雑草や雑木等の繁茂による景観や眺望の阻害」「花の名所などにおける木々の衰弱」などの**問題点**が見受けられました。

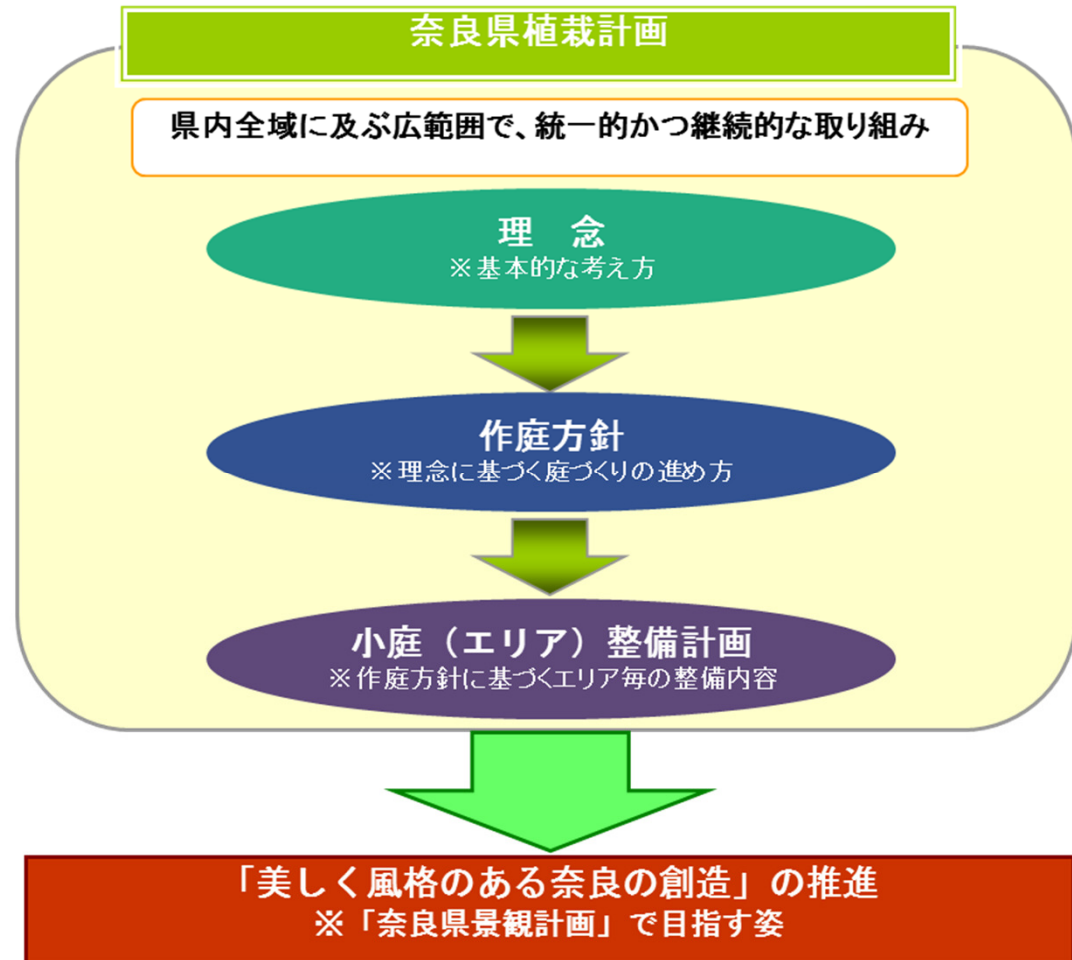


今を生きる私たちが植栽景観を整えていくことで、奈良県が持つ「ほんもの」の**魅力を向上させ、次の世代に引き継いでいくために、「奈良県植栽計画（「なら四季彩（しきいろどり）の庭」づくり）」**を策定しました。

3. 植栽計画の構成

植栽景観の向上は、県内全域に及ぶ広範囲かつ長期に渡る取り組みとなることから、「奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）」を策定し、統一かつ継続的な考え方の下で植栽整備を実施します。

*奈良県植栽計画の構成



*この計画では、特徴ある景観を有する一定の地域(エリア)を「小庭」と呼びます

II. 理念

「なら^{しきいろどり}四季彩の庭」づくり
奈良県を『一つの庭』と見立てた、四季折々の彩りを楽しむ庭づくり

①『一つの庭』

県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭（エリア）」として、植栽景観を整え、奈良県全体が調和のとれた『一つの庭』となることを目指します

—個々の魅力が集まり、全体の美しさを形成する庭—

②「四季折々の彩り」

いつ訪れても四季折々の奈良の彩りを楽しめるような庭を目指します

—花や緑の彩りあふれる庭—

③「人が楽しむ」

住み、訪れる人が、見て、歩き、遊ぶことなどで楽しむ庭を目指します

—人が集まり、笑顔あふれる楽しみの庭—

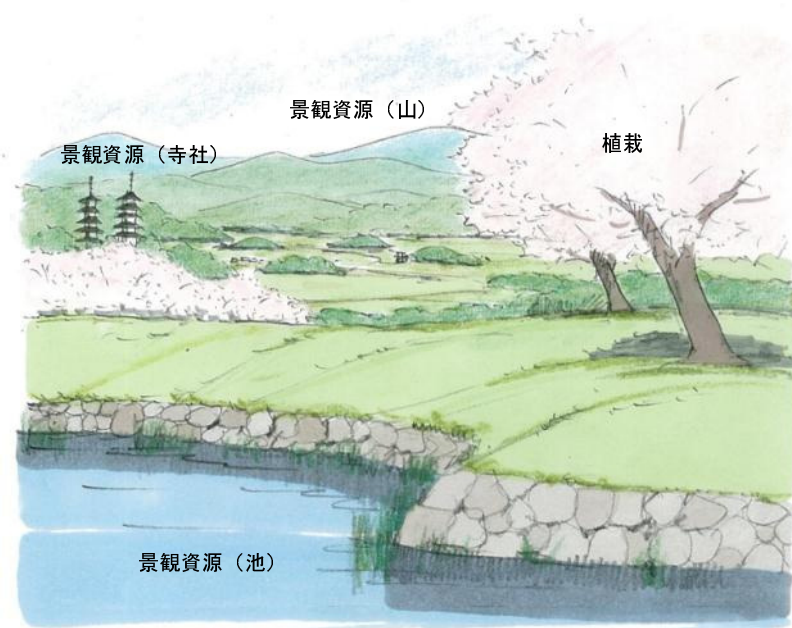
①『一つの庭』

県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭（エリア）」として、植栽景観を整え、奈良県全体が調和のとれた『一つの庭』となることを目指します

—個々の魅力が集まり、全体の美しさを形成する庭—



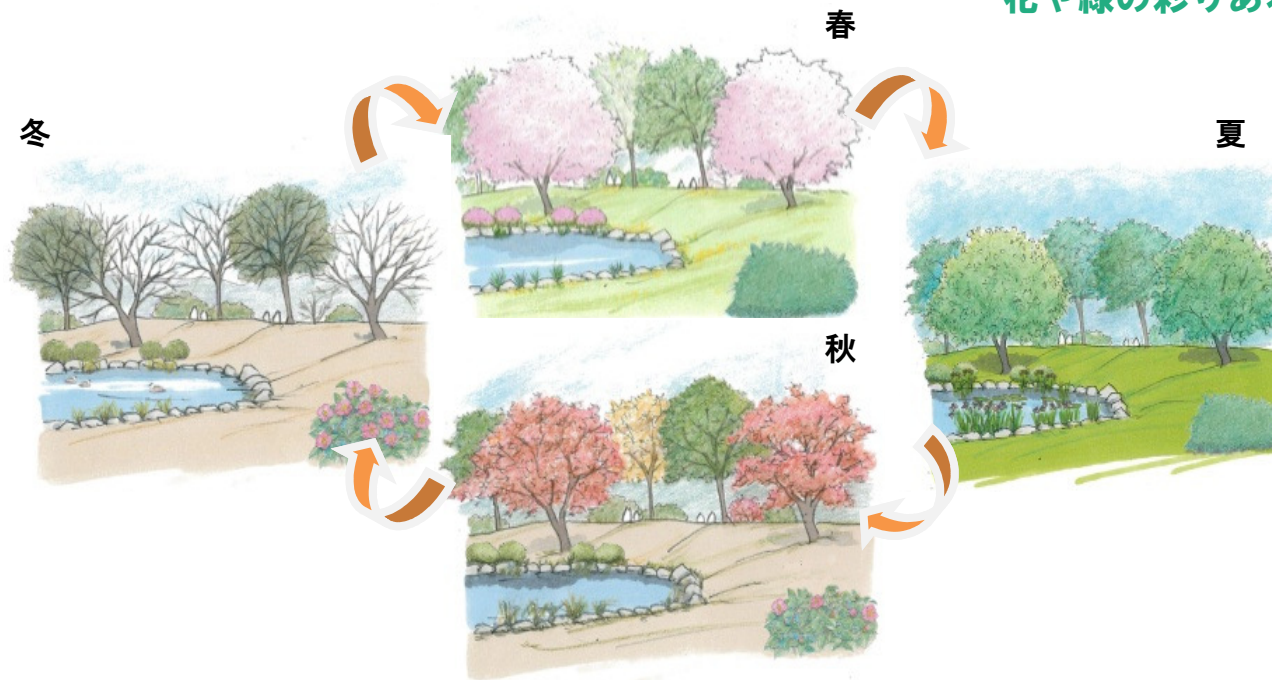
『一つの庭』のイメージ



「景観資源」により形成される「小庭」のイメージ

②「四季折々の彩り」いつ訪れても四季折々の奈良の彩りを楽しめるような庭を目指します

—花や緑の彩りあふれる庭—



③「人が楽しむ」住み、訪れる人が、見て、歩き、遊ぶことなどで楽しむ庭を目指します

—人が集まり、笑顔あふれる楽しみの庭—



III. 作庭方針

1. 作庭方針をつくるにあたっての考え方

調和のとれた「なら四季彩の庭」づくりを実現するための具体的な考え方を、「日本の庭」づくりの考え方を取り入れ、作庭方針としてまとめました。

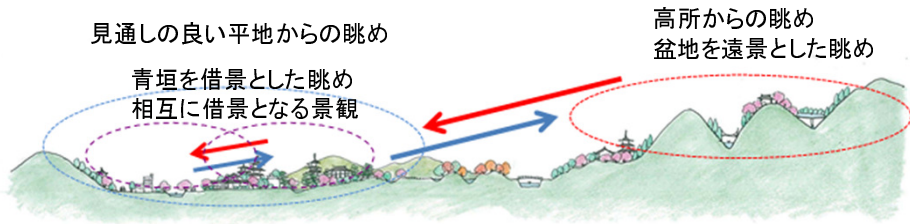
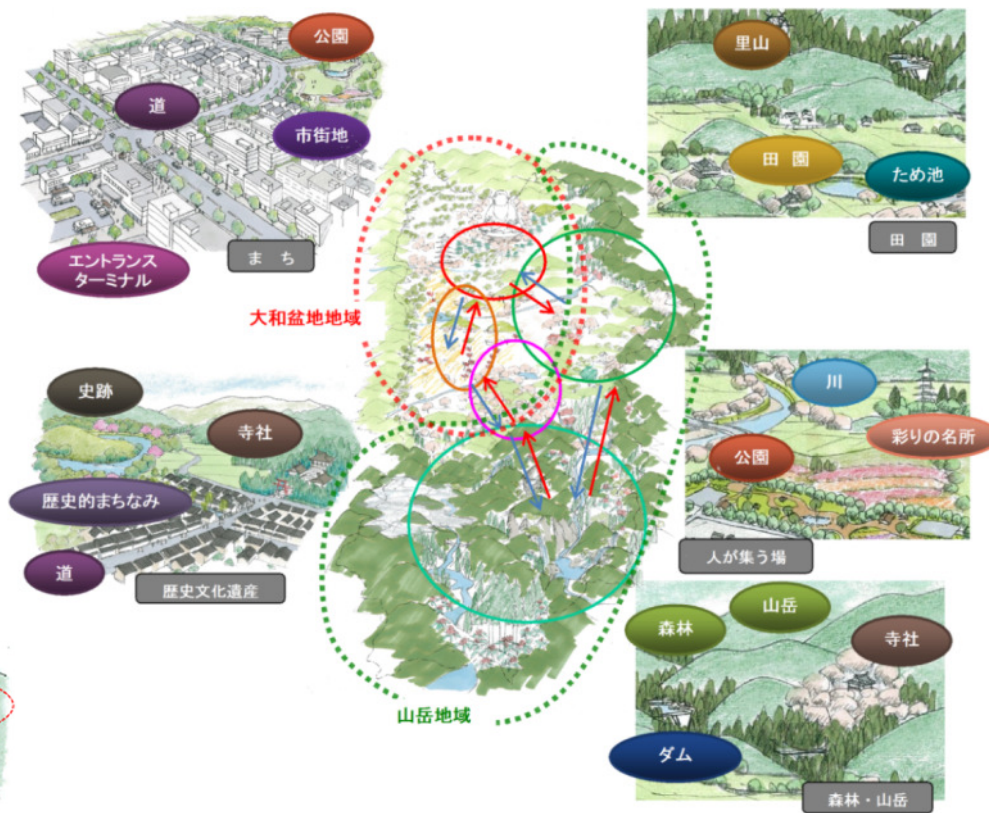
2. 作庭方針

作庭方針① 調和のとれた『一つの庭』づくり

「小庭(エリア)」を整えつつ全体としての調和に配慮した庭づくりを行います。

作庭方針② 地域の景観資源を活かした庭づくり

地域の空間をかたちづくる特徴をもった「景観資源」を選び、その特徴をふまえた整備の手法に沿って、統一感のある整備を行います。



作庭方針③ 四季折々の彩りの庭づくり

季節のうつろいや時の変化を感じることができる彩りを整え、庭を訪れる人々がやすらぎや感動を覚え、様々な想いに浸ることができる庭をつくります。



桃尾の滝（奈良県景観資産より）



実をついばみに来た鳥

作庭方針④ 人が楽しむ庭づくり

そこを訪れることで、見たり、歩いたり、遊んだりといった、いろいろな楽しみ方や活動ができる庭づくりを行います。

（楽しみ方の例）

見る



そだてる



ふれあう



体を動かす



くつろぐ



遊ぶ



まじわる



歩く



感じる



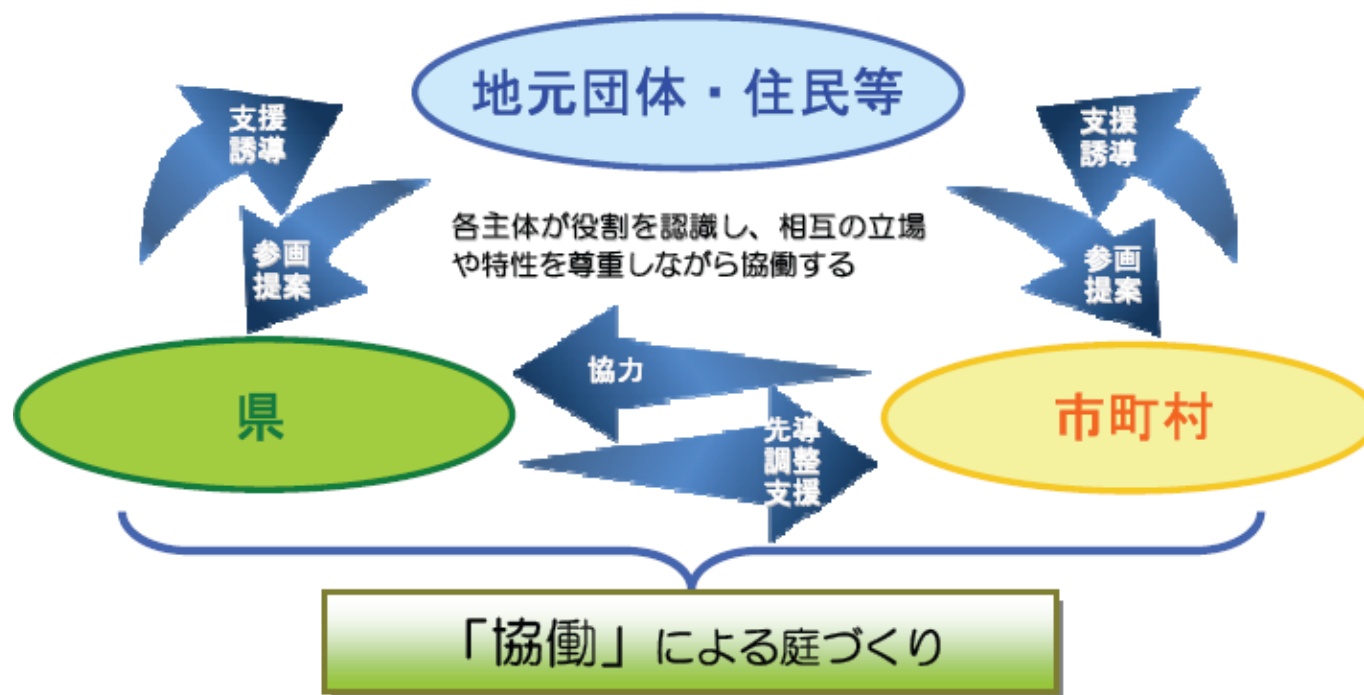
あじわう



作庭方針⑤ 庭づくりを続けるために

■ 庭づくりのための「協働」

- 庭づくりを進めていくうえでは、県だけではなく、国や市町村、地元団体（自治会、NPO、事業者など）や住民等の様々な主体による連携や協働が大切です。
- とくに良好な植栽景観を形成するためには、各主体がそれぞれ主体的な役割を担っていることを認識し、その役割を積極的に果たすことが求められます。
- このような協働を進めるために、様々な主体と十分な協議や調整を行い、適切な役割分担のもと、庭づくりを進めていきます。



IV. 小庭(エリア)整備計画

1. 小庭(エリア)の選定

- 今回の計画では「**第一次計画**」として、県内の主要な名所やその周辺等の「**小庭(エリア)**」を選定し**整備計画**を策定しました。
- 「小庭(エリア)」を形成する地域は今回の対象地以外にもいろいろな形で選定できるため、**今後も必要に応じて適宜追加・拡大**していきます。

2. 構成

- 各エリアの現況や植栽の課題をふまえ「小庭(エリア)」全体の方針をとりまとめた「**整備方針図**」を対象となる全ての「小庭(エリア)」において作成しました。
- 具体化が可能な事業については、実施内容を表した「**計画平面図**」や「**イメージ図**」も別途作成しました。

整備方針図

各エリアの現況や植栽の課題をふまえた「小庭(エリア)」全体の整備方針を表すもの

計画平面図

整備方針図に記載された計画のうち、実施内容が具体化した計画図面

イメージ図

計画平面図を基に事業実施後の姿を描いたイメージパースなど

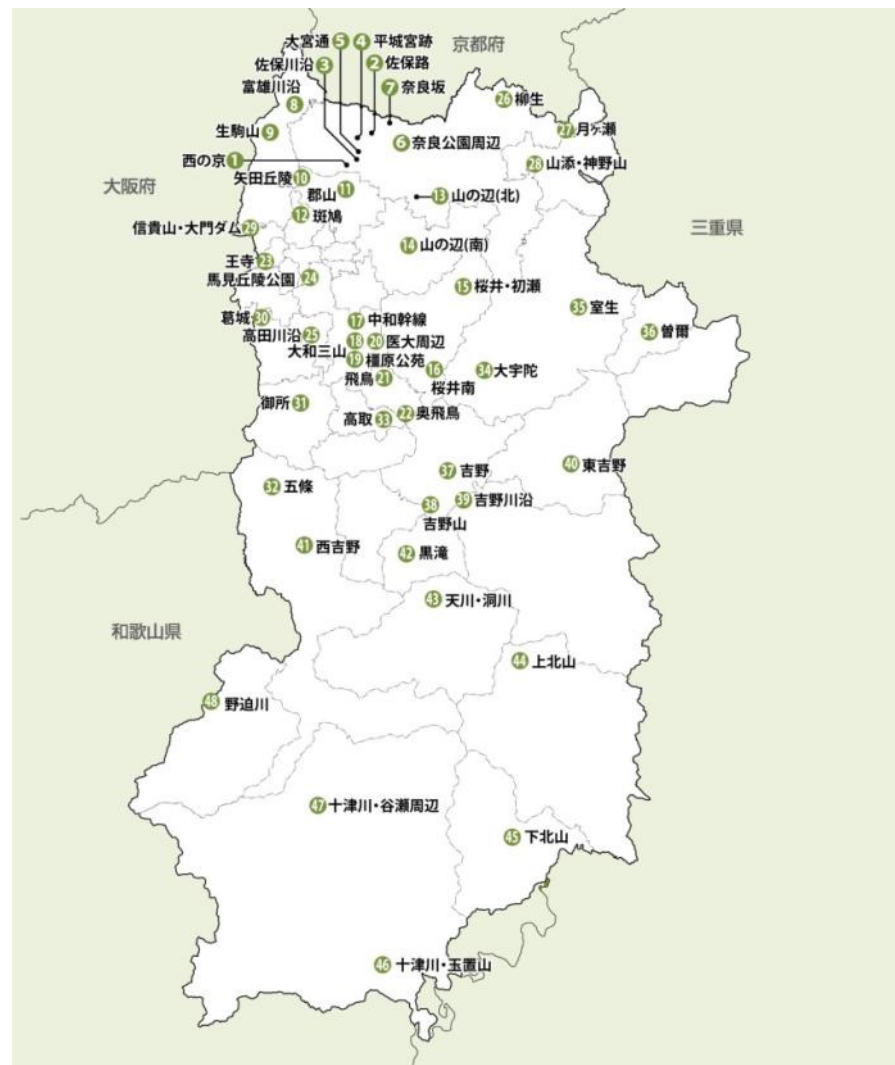


表 第一次計画における小庭(エリア)一覧

番号	エリア名	整備のコンセプト	番号	エリア名	整備のコンセプト
1	西の京	歴史的景観をひきたてる彩りと眺めの魅力向上	25	高田川沿	高田川桜並木の維持と水辺の魅力向上
2	佐保路	歴史を感じる佐保路の魅力向上	26	柳生	周辺資源を活かした“柳生の里”の魅力向上
3	佐保川沿	佐保川桜並木の維持と水辺の魅力向上	27	月ヶ瀬	梅の名所月ヶ瀬の魅力向上
4	平城宮跡	歴史と景色を楽しむ空間づくり	28	山添・神野山	ツツジの名所神野山の魅力向上
5	大宮通	花と緑のおもてなしの空間づくり	29	信貴山・大門ダム	山と水辺に映える彩りづくり
6	奈良公園周辺	歴史的景観を引き立たせる健全な緑の維持	30	葛城	眺めと周辺資源を活かした葛城の魅力向上
7	奈良坂	歴史を感じる奈良坂の魅力向上	31	御所	眺めと周辺資源を活かした御所の魅力向上
8	富雄川沿	富雄川沿いの移動景観の魅力向上	32	五條	歴史的まちなみと水辺の魅力向上
9	生駒山	生駒山周辺の眺めと彩りの魅力向上	33	高取	城跡や森林資源を活かした高取の魅力向上
10	矢田丘陵	矢田丘陵の眺めと彩りの魅力向上	34	大宇陀	城跡や自然資源を活かした大宇陀の魅力向上
11	郡山	城跡やまちの資源を活かした郡山の魅力向上	35	室生	室生周辺の眺めと彩りの魅力向上
12	斑鳩	歴史的景観をひきたてる斑鳩の魅力向上	36	曾爾	自然資源を活かした曾爾の魅力向上
13	山の辺(北)	歴史的資源を活かした山の辺の道の魅力向上	37	吉野	五感で楽しむ吉野の魅力向上
14	山の辺(南)	農村資源を活かした山の辺の道の魅力向上	38	吉野山	桜の名所“吉野山”の魅力向上
15	桜井・初瀬	初瀬周辺の眺めと彩りの魅力向上	39	吉野川沿	訪れて楽しい水面に映える四季の彩りづくり
16	桜井南	多武峰周辺のモミジや農村資源を活かした彩りの魅力向上	40	東吉野	森林資源を活かした東吉野の魅力向上
17	中和幹線	青垣を望む移動景観の魅力向上	41	西吉野	梅の名所賀名生周辺の魅力向上
18	大和三山	大和盆地のシンボルとしてより親しみのある見る・見られる山づくり	42	黒滝	森林資源を活かした黒滝の魅力向上
19	橿原公苑	魅力とやすらぎを感じる橿原公苑づくり	43	天川・洞川	森林資源を活かした洞川周辺の魅力向上
20	医大周辺	医療拠点にふさわしい緑と彩りのある空間づくり	44	上北山	森林資源を活かした和佐又山周辺の魅力向上
21	飛鳥	歴史的景観をひきたてる“飛鳥”の魅力向上	45	下北山	ダム湖周辺の資源を活かした下北山の魅力向上
22	奥飛鳥	奥飛鳥における水辺景観の保全と創造	46	十津川・玉置山	森林資源を活かした玉置山周辺の魅力向上
23	王寺	西の玄関口にふさわしい彩りの空間づくり	47	十津川・谷瀬周辺	森林資源を活かした谷瀬周辺の魅力向上
24	馬見丘陵公園	四季を通じてカメラを向けたい名所づくり	48	野迫川	鶴矩公園周辺の眺めと彩りの魅力向上
			計 (48エリア)		

整備計画の一例・・・西の京エリア

エリアNo.
01

西の京

薬師寺、唐招提寺、垂仁天皇陵など歴史的景観が形成されている地区

整備のコンセプト:

歴史的景観をひきたてる彩りと眺めの魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- ・秋篠川では桜並木が連続していない部分等が見られる。
- ・歴史的景観や視対象への景観が繁茂した植栽等により阻害されている箇所が見られる。
- ・歴史的な地域として、適正な植栽の管理(竹林の伐採・雑草の管理・植樹)等が求められる。

課題解決
への
主な対応

- ・桜の植樹や彩り植栽等による秋篠川の魅力向上
- ・繁茂する竹林伐採と彩り植栽・雑草の除去等の適正管理

【今後の連携方策】 一部、民地の植栽管理が望ましい箇所もあることから、地域住民と一体となった植栽景観の向上に向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



大池から薬師寺伽藍・若草山をのぞむ眺望(奈良県景観資産)

□垂仁天皇陵周辺

短期 県有地において、四季折々の花木を植栽することにより、彩りを付与しおもてなしの景観づくりを図る

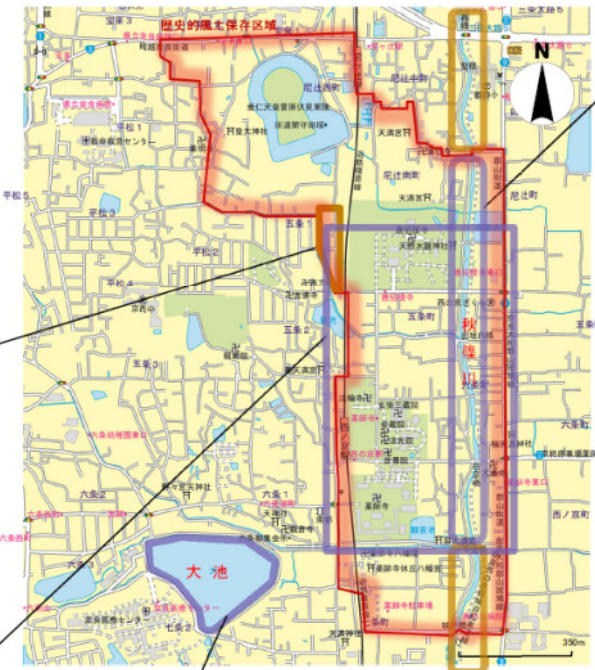


□薬師寺～唐招提寺間

長期 薬師寺～唐招提寺間の道路について、おもてなしに配慮したみちづくりを図ることが望ましい

長期 繁茂する竹林を伐採し、彩りを付与することによるおもてなしの景観づくりが望ましい

管理 県有地において、植物の剪定等の適正管理を行うことにより、周辺景観の魅力向上を図る



□大池周辺

長期 視点を整備することによる眺望景観の向上が望ましい

長期 植栽を行うことによる水辺景観の魅力向上を図ることが望ましい

□秋篠川周辺

短期 桜の植樹により水辺の魅力向上を図る



長期 低木草花により水辺の彩り付与を行い水辺の魅力向上を図ることが望ましい



管理 水辺の魅力向上を図るため、雑草を除去する

○ 県が主体となる事業 ○ 協働事業

「なら四季彩の庭」づくりを推進するための諸施策

美しく風格のある景観の創造

「なら四季彩の庭」づくり
地域と協働した

計画の推進

計画の進行管理と、新たに具体化した取り組みの事業化等の検討
(新) 奈良の彩りづくり 植栽計画推進事業

計画

- 計画の進行管理 【3,014千円】
- 計画推進のための具体的な検討(課題確認のための調査、専門家からの助言指導、関係機関との調整)
- 新たに具体化してきた取り組みの事業計画化 等

支援策による推進

市町村や地元団体等による植栽整備を、補助により推進 リニューアル 植栽整備推進補助金

【現行】

- 市町村事業への補助(1/2)
- 地元団体等事業への間接補助
(市町村経由: 1/3)

【リニューアル後】

- 市町村事業への補助(1/2)
- 地元団体等事業への間接補助(市町村経由: 1/3)
- 地元団体等事業への直接補助(1/2) ←追加

【19,000千円】

整備

地元団体等による維持管理を支援

(新) 植栽協働管理推進事業

【394千円】

管理

- 県が整備した植栽を、地元団体等が協働行為として県に代わって管理する場合

エリア協議会等の運営やアドバイザー派遣等地域へのサポート **(新) 植栽景観向上支援事業**

【690千円】

サポート

- エリア協議会等(官民協働した推進組織)の運営の支援
- ソフト的支援
 - ・人的支援(アドバイザー派遣等)
 - ・マッチングの機会創出 等

整備の実施

先導

植栽整備の先導的实施(県)

県の補助金を活用した整備例 1
(生長した樹木を整理し眺望を確保: 王寺町)



県の補助金を活用した整備例 2
(古墳頂部の樹木を整理し眺望と景観を確保:桜井市)



ご清聴ありがとうございました

